

件名	東浦町保健センター運営協議会	
日時	令和元年7月16日（火曜日） 午後1時30分から同2時40分まで	
場所	東浦町保健センター 指導相談室	
出席者	委員	岡本嘉仁(副会長)、吉田正和(会長)、平林直樹、増井恒夫、久米賢治、西尾弘道、中村直子、加藤美年子、山下昭子、梶山博史、栄口由香里
	事務局	馬場健康福祉部長、内田健康課長、小島課長補佐兼健康係長、笹俣子育て世代包括支援センター課長補佐兼係長、伊藤成人保健係長
欠席者	1名	
傍聴者	なし	
内容	1 あいさつ 2 議題1 平成30年度東浦町保健センター事業実施状況について 3 議題2 令和元年度東浦町保健センター事業計画について 4 その他	
記録		
事務局	あいさつ 傍聴者の確認 委員の委嘱 出席者自己紹介 副会長選出	
副町長	あいさつ	
事務局	会長に議事の進行をお願いします。	
会長	出席委員11名を確認し、会議の成立を確認。 議題1の説明を求める。	

事務局	<p>議題1「平成30年度東浦町保健センター事業実施状況について」を説明。</p> <p>※成人保健係、健康係及び包括支援センター係長がそれぞれの平成30年度事業実施状況について説明</p>
会長	<p>質疑を求める。</p>
委員	<p>Q.いのちを大切にする教室及び小中学校歯科教育に西部中学校がない理由は？</p>
事務局	<p>A.両事業とも各学校に保健センター職員の派遣依頼を打診し、希望があった学校に対して実施している。要望が無かった学校に対しても、引き続き開催の打診を行っていく。</p>
委員	<p>Q.平成30年度に骨髄ドナーに対する補助金の支給実績があったが、もともと町としての目標はどのくらいであったか？</p>
事務局	<p>A.実績がない状態であったので、実績が出た時点で目標としては達成されたと評価している。</p>
委員	<p>Q.骨髄ドナー補助金の内訳は？</p>
事務局	<p>A.骨髄提供に要した入院期間1日あたり2万円を支給する。</p>
委員	<p>Q.ウォーキング同好会の同好会数が減ったと説明があったが、実績ではグループ数が増えているがその理由は？</p>
事務局	<p>A.ノルディックポールを活用したノルディックウォーキング同好会等が増加し、総数は増えているが、通常のウォーキングを主活動とする同好会が活動休止し、会の内訳の中で、減少となったという意味である。</p>
委員	<p>Q.健康増進事業の訪問指導の累計に介護予防事業等で訪問した数は再掲しないのか？</p>
事務局	<p>A.健康増進事業としての訪問件数を記載している。</p>
会長	<p>議題2の説明を求める。</p>
事務局	<p>※議題2「令和元年度東浦町保健センター事業計画について」を各係長が説明。</p> <p>質疑を求める。</p>

委員	Q. (※添付資料の同好会一覧より)先ほど実績でウォーキング同好会が減ったと記載があるが、登録はされており、その関係は？
事務局	A. 健康課が把握する同好会の基準として、生涯学習課に登録のある各種同好会とする基準がある。生涯学習課に昨年度登録後、活動を休止することとなったと聞いており、一覧には掲載されているところである。
委員	Q. 生涯学習課に登録している以外でも活動を行っている同好会があるが、そこは健康課が把握する同好会とはならないのか？
事務局	A. 独自で活動している団体がある程度を把握はしているが、基準がないままで全て把握ということは難しい。健康課管轄の団体としては、生涯学習課に登録を行っているという基準で進めていきたい。
	閉会